

組合 スポットライト

米COMEかほく協同組合



米COMEかほく協同組合は、平成30年度から実施される食用米生産調整廃止による影響で供給過剰による米価下落の対応や食用米の販路拡大、農業所得の向上を図るため、河北町の米生産者の他、米の集荷・販売を行う5人が集まり組合を設立しました。河北町産の米のブランド化を図るため、平成29年10月よりオリジナルのロゴマークを作成し、マークを印刷したオリジナルの袋を活用しています。ロゴマークについては、生産者の思いや河北町の自然の豊かさについて、組合員と町商工会のメンバーが意見を出し合いデザインを決定しました。デザインについて、5つの黒丸は稲穂を表し、斜めの3本線2つは町内に流れる最上川

と寒河江川の清流を表しています。ブランド名の「いいなこっす」についてギリシャ神話に登場する川の神「イーナコス」と山形弁の「いいなっす」をもじっています。ブランド化戦略については功を奏し、ふるさと納税の返礼品に採用されており、10日たらずで30トンの米が底をつくほどの人気となりました。寒河江川に流れる月山の雪解け水は水温が低いことから、米の収量は多くはないがうま味が凝縮しているとのこと。今後、組合の取組みとして、販促のためのメールマガジンによる情報発信、農産物についても米の生産だけでなく、さくらんぼ、いちごの生産も手掛けていきたいとのこと。

組合概要

所在地	〒999-3522 西村山郡河北町溝延字千刈47-1
TEL	0237-72-3416
FAX	0237-72-4505
主な事業	農産物の販売
設立	平成29年3月
組合員数	5人
理事長	江目 一廣

